

冬季特別展示

錯覚展 2020

杉原教授の不思議な世界

大好評だった「錯覚展」が
また、やってきた！
冬のイケビはおもしろい！

過去2回開催し、子どもから大人まで大好評だった「錯覚展」が2年ぶりに帰ってきました。東大名誉教授、明治大学研究特別教授で、ベスト錯覚コンテストで3回優勝した錯視研究の第一人者、杉原厚吉先生が制作した作品を紹介します。杉原教授は、鏡に映すと姿が変わったり、玉が坂道を上っていくように見えたりする錯覚という現象の仕組みを数学を使って解明しています。本当のことが分かっているのに、それとは別のものを見てしまう脳の不条理な振る舞いを体感し、視覚の不思議さと危うさについて学んでみよう！

2020年

会場：2階展示室1

1月25日(土)～4月6日(月)

南魚沼市 池田記念美術館

新潟県南魚沼市浦佐 5493-3 TEL 025-780-4080

開館時間：午前9時～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

※3月2日(月)、4月6日(月)は午後3時終了

休館日：毎週水曜日

展示替え休館日：3月3日(火)～5日(木)

入館料：大人500円、各種割引あり、高校生以下無料

今年も八海山麓スキー場に 「雪の錯覚すべり台」が登場！

八海山麓スキー場ホワイトカーニバルで巨大な「雪の錯覚すべり台」を今年も大公開します。4回目となる今回は、前々までの「なんでも反発3方向すべり台と階段」ではなく、新しい形に挑戦します。どんな「錯覚すべり台」が登場するか、当日までのお楽しみ！重力に逆らって、坂をすべって上のように見える、驚きのすべり台です。

八海山麓スキー場ホワイトカーニバル
期日：2020年3月1日(日) 予定
問合せ先：八海山麓スキー場 TEL 025-779-3103

←ドローンで撮影した2019年3月の「錯覚すべり台」
写真提供：新潟セルテック建設株式会社 (南魚沼市荒金)

【渦巻き玉乗り】ピエロがのっている玉は渦巻き模様に見えますが、小図形を同心円に並べたものです。ピエロが持っている玉は、交差する曲線が描かれているように見えますが、これも小図形を同心円に並べたものです。この錯視は、フレイザーが1908年に見つけたもので、フレイザー錯視と呼ばれています。

